

知って得する健康 ミニ知識

動画サイトYouTubeで動画配信しています！

当院ホームページよりご覧いただけます。

ぜひご覧ください。



島根県立中央病院 動画ギャラリー

検索



令和3年

12月のテーマは…

訪問診療・訪問看護 のおはなし

～安心して療養生活をおくるために～

講師 退院調整看護師
岡 美奈子



訪問看護ってなあに？

訪問看護とは、看護師が自宅を訪問して、病気や障害に応じた看護を行うことです。

訪問看護師は、体調に変わりがないか健康状態を確認し、状態の悪化防止や回復に向けての生活やケアのアドバイス、自宅でできるリハビリの指導、お風呂のお手伝いなどを行っています。褥瘡（床ずれ）などの傷の処置や、人工肛門の手当、在宅酸素療法、点滴、胃瘻栄養などの経管栄養、人工呼吸器などの医療処置のお手伝いも可能です。また、ご自宅で最期まで過ごしたいという思いに寄り添った看護もしています。訪問看護ステーションの中には24時間体制の事業所も多くあり、定期訪問以外にも体調不良時は夜間でも電話対応や訪問をされている所もあります。病気や障害の状況、生活スタイル、望まれることが異なるため、訪問看護師は、かかりつけ医やケアマネジャー、薬剤師など色々な職種と普段から連携を取りながら、その人らしい生活が送れるよう看護をしています。

訪問看護は年齢、病状、障害の程度を問わず様々な方が受けることができます。かかりつけ医、担当ケアマネジャー、お近くの訪問看護ステーション、地域包括支援センター、市町村の介護保険や障害福祉の担当窓口などで相談してください。

相談ケース① 心不全で入院された患者さんのご家族から、退院後の相談

退院後はどんな時に病院を受診していいのかわからない。家族だけでは不安です。



訪問看護に来てもらって体調に変わりがないか確認してもらうのはいかがですか？



相談ケース② インスリンの注射を自分で行うことになった患者さんからの相談

うまくできるか心配です。

飲み薬もたくさんあって混乱しそうです。



慣れるまで訪問看護でみてもらいながら行ってみませんか？お薬の管理も手伝ってもらいましょう。



訪問診療ってなあに？

訪問診療とは、通院が困難な患者さんの自宅に医師が定期的に診療に来てくれる診察方法を言います。緊急時には必要に応じて自宅を訪問し診察します。また入院の必要があると判断された場合には適切な医療機関へ紹介します。

ご高齢で筋力が低下し一人で移動できる範囲が限られてきた方や、ご家族が通院に大変さを感じるようになってきた場合に受診から訪問診療への切り替えを検討される方もいます。

カテーテルといって体の中に入っている管の定期的な交換を自宅で受けることもできますので、それを目的に訪問診療を考える方もいます。

苦痛を緩和してもらいながら最期まで自宅で家族と過ごしたい方には、自宅で苦痛を和らげる適切な薬を使ってもらえることもできます。

訪問診療の対象となる方は特に定められたものはありません。通院が外出や気分転換の良い機会になる方もいらっしゃいますので、その方の状況と希望に合わせて検討されると良いかと思えます。

訪問診療についても、医療機関によって対応する範囲が異なりますので、まずはかかりつけ医や担当ケアマネジャー、入院先のソーシャルワーカーなどへご相談ください。

相談ケース① 外来通院のある患者さんと、そのご家族からの相談



母も高齢になり、車椅子に乗せるのも大変。

大きな病院だと待ち時間も長くて、家に帰ったらすっかり疲れてその日はなにもできません。



かかりつけ医の先生に訪問診療を相談してみられてはどうでしょうか？



相談ケース② 入院中の患者さん。積極的な治療は希望せず、自宅に帰って穏やかな時間を過ごしたい。

自宅で穏やかな時間を過ごしたい。でも時々、痛みや吐き気があります。

訪問診療や訪問看護で点滴の処方や管理を手伝ってもらったり、症状を緩和してもらえるように依頼してみませんか？

